

本別町地球温暖化対策実行計画の取り組み状況

平成 23 年 3 月に本別町地域温暖化対策実行計画を策定し、公共施設の二酸化炭素排出量について平成 20 年度を基準に平成 27 年度までに 14.1%、令和2年度までに 25.1%削減することを目標としました。

	平成 20 年度	平成 27 年度	令和2年度
二酸化炭素排出量	5,395t/CO2	4,632t/CO2	4,042t/CO2
削減率	基準	14.1%削減	25.1%削減

これまでの二酸化炭素排出削減結果

	20 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1年度	基準年比較
電 気	2,312t/co2	2,315t/co2	2,274t/co2	2,381t/co2	2,237t/co2	2,013t/co2	▲299t/co2
A 重油	1,908t/co2	1,762t/co2	1,900t/co2	1,609t/co2	1,564t/co2	1,515t/co2	▲393t/co2
灯 油	712 t/co2	590t/co2	692t/co2	734t/co2	709t/co2	613t/co2	▲ 99t/co2
ガソリン	77 t/co2	89t/co2	90t/co2	98t/co2	89t/co2	90t/co2	+ 13t/co2
軽 油	338 t/co2	288t/co2	312t/co2	283t/co2	240t/co2	258t/co2	▲ 80t/co2
LP ガス	48 t/co2	38t/co2	18t/co2	16t/co2	17t/co2	15t/co2	▲ 33t/co2
計	5,395t/co2	5,082t/co2	5,286t/co2	5,121t/co2	4,856t/co2	4,504t/co2	▲891t/co2
削減率	基準年	5.8%削減	2.0%削減	5.1%削減	10.0%削減	16.5%削減	

二酸化炭素削減に向けたこれまでの取り組み

- 街路灯の LED 化 平成 20 年度から 25 年度にかけて 1,142 基
- 室内照明の LED 化
 - 平成 22 年度 仙美里地区公民館、老人福祉センター 計 90 台
 - 平成 24 年度 栄町児童館、総合ケアセンター、北地区交流センター、南地区集会所 計 208 台
 - 平成 25 年度 勇足地区公民館、世代交流館、共栄集会所、東児童館、本別生活館、ふれあい交流館、中央公民館 計 305 台
 - 平成 26 年度 総合ケアセンター、中央公民館、老人福祉センター、新町集会所、役場庁舎 老人いきがい陶芸センター 計 380 台
 - 平成 27 年度 町体育館 127 台
 - 平成 28 年度 勇足小学校 217 台
 - 平成 30 年度 健康管理センター、町図書館、町資料館、町体育館、多目的アリーナ、中央小学校、仙美里小学校、本別中学校、勇足中学校、国民健康保険病院 計 2,336 台
- 太陽光発電設備の設置
 - 平成 22 年度 勇足保育所 5kw
 - 平成 25 年度 学校給食共同調理場 20kw
- ハイブリット車の導入
 - 平成 21 年度 1 台、平成 27 年度 1 台
 - 令和元年度 1 台
- グリーンディーゼル車の導入 平成 24 年度 1 台
- 電気自動車の導入 平成 27 年度 1 台



これまでの削減に向けた状況分析

- 電気

LED 照明への機器交換等により電気使用量が減っています。一方、電子機器の増加や、オストメイト対応トイレ、自動ドア、エレベーター、ロードヒーティング設置などのバリアフリー化と新たな水道施設、排水機場の稼働など電気を使用する設備も増加しています。

- A重油・灯油

ボイラーから灯油ストーブ、あるいは電気暖房機器への転換等により重油の減少傾向が見られますが冬期間の気温の状況によっても変化するところです。

- ガソリン・軽油

福祉活動での個別訪問等やニーズの多様化に対応するため、車両の使用が増加している状況にあります。

- LPガス

電磁調理機器への移行などによって減少しています。

今後に向けた取り組み

- (1)さらなる節電に努めるとともに、自然エネルギーの普及・活用を進めていきます
- (2)公用車の使用を減らすため公共交通や自転車等軽車両の利用を促進します
- (3)引き続きゴミの減量、リサイクルに努めます
- (4)環境保全に関する意識向上を図り、生活すべてにおいて温室効果ガス削減を実行していきます
- (5)緑化事業を推進していきます

